

びょうぶ

空間を彩る屏風

ワイドスクリーン

— 広がる大画面 —

「屏風」は間仕切りや風よけとして用いられてきた調度です。折り畳むことができるため移動や収納に便利であり、また、折り方によって区切る形や広さも自在であるため実用性の高いものとして愛用されました。

そして、屏風の多くには絵が描かれました。絵の内容により、置かれた空間に意味を持たせたり、場を美しく装飾するなど、空間演出に用いられるようになります。中世には金や銀を多用した屏風が他国との交易に用いられるなど、日本ならではの美術品として注目されていたことを示しています。

屏風絵は、バラエティに富む画題やさまざまな様式で多くの絵師によって手掛けられてきました。屏風特有の横長の大画面は絵師にとって挑戦であったに違いありません。

この展覧会では空間を彩ってきた屏風を紹介します。現代の生活ではあまり目にすることのなくなった屏風ですが、私たちが部屋の模様替えをして楽しむように、また、私たちが今いる場所から別の世界へと導いてくれる魅力的な絵画として鑑賞していただければ幸いです。



柳橋水車図屏風 江戸前期 個人蔵

— 展覧会概要 —

	びょうぶ	ワイドスクリーン
展覧会名称	空間を彩る屏風 — 広がる大画面 —	
会期	2024年2月20日(火)～4月14日(日) [前期]2月20日(火)～3月17日(日) [後期]3月19日(火)～4月14日(日)	
開館時間	午前10時～午後5時	
休館日	毎週月曜日	
入館料	一般 1,400円 学生 1,100円	
主催	細見美術館	
会場	細見美術館 京都市左京区岡崎最勝寺町6-3 http://www.emuseum.or.jp	
本展連絡先	細見美術館 TEL: 075-752-5555(代) FAX: 075-752-5955(代) 広報担当 大塚 kouhou@emuseum.or.jp	

ご入館および施設のご利用にあたっては、当館の新型コロナウイルス感染拡大防止対策にご協力をお願いいたします。
また、急激な状況の変化により、止むを得ず会期・営業日時等を変更する場合があります。詳しくはホームページをご覧ください。